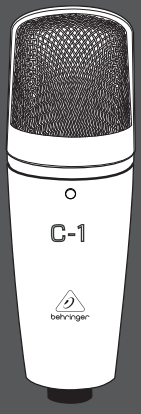
JP




取扱説明書

# STUDIO CONDENSER MICROPHONE C-1

Studio Condenser Microphone

behringer.com

behringer

JP

## JP 安全にお使いいただくために

### 注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。 製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

### 注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

### 注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

コンデンサーマイクは湿気に対して非常に敏感です。このタイプのマイクは絶対に湿気の高い場所 (浴槽、洗 台、流し台、洗濯機、プールなど)のそばで使用しないでください。

本装置は取扱説明書に記載されている供給電源でのみ使用可能です。

マイクの落下にはくれぐれもご注意下さい。重大な損傷の原因となる場合があります。お客様の過失による損傷は保証の対象とはなりません。

使用後には必ずマイクを柔らかい布で拭いた後に付属のケースに格納して下さい。この際、乾燥剤の入った袋をマイクケースに入れたままの状態にし、マイクを常に乾燥した状態に保ってください。

マイクのカートリッジの周りの金網部は絶対に取り外さないでください。マイクの損傷の怖れがあります。

また、 C-1 の基盤の改造等は行なわない下さい。このような改造によって修理不可能な故障が生じた場合には保証は無効となります。

---

## 限定保証

ご購入後は、新しい BEHRINGER 機器をぜひご登録ください。 http://behringer.com にアクセスして、保証条件をご確認ください。

JP

## 1. ファンタム電源の供給

コンデンサーマイクの使用にはファンタム電源 (+36 ~ +52 V) が必要となります。マイクをファンタム電源に接続すると、コントロール LED が点灯します。異常のあるファンタム電源の使用に伴う C-1 の損傷には当社では一切の責任を持ちません。ファンタム電源の投入時には再生機器をミュートに切り替えてください。

## 2. 指向特性

C-1 に使用されているカーディオイド特性のカプセルは器楽音、あるいはボーカルのレコーディングに最適です。カーディオイド特性は、レコーディング時に最も頻繁に使用される指向特性で、望ましくない反響音や背景音をカットします。

## 3. マイクのインストール方法

このマイクには、メトリック規格 (ヨーロッパ) またはインチ規格 (米国) のマイクスタンドに取り付けが可能なマイクホルダーが固定されています。まずマイク下部にある大きなスレッドを廻してマイクを取り外してください。マイクホルダーをマイクスタンドに固定したら、マイクを再びホルダーに戻しねじを廻して固定します。

一般的に、マイクは音源に対して垂直に設置します。音源に対するマイクの角度によって、録音音声が変わってきますので、お好みの音声が得られるよう様々な角度を試してみてください。ねじを緩めればマイクはホルダーごと回転させることが出来ます。

垂直に設置されたマイクを傾けたい場合は、付属されているマイクホルダーのジョイント部を調節してください。

JP

◊ ネジ穴を損傷する場合がありますので、ネジは強く締めすぎないようにお気をつけ下さい。

C-1 をホルダーから取り外し、市販のサスペンションに固定することももちろん可能です。

## 4. オーディオ接続

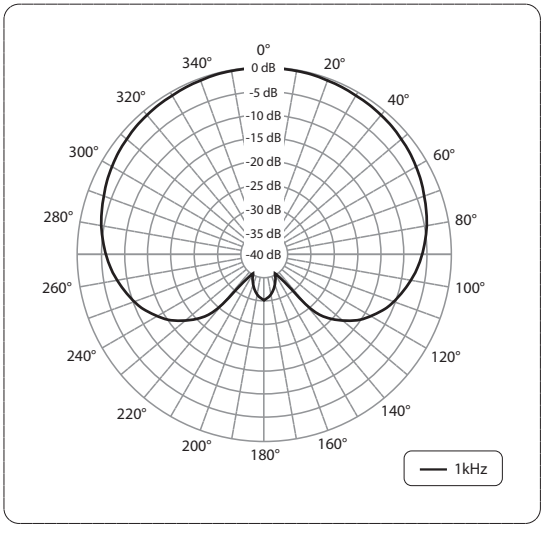
C-1 の接続にはバランス型の XLR マイクケーブルを使用してください (ピン構成は以下の 通り): Pin 1 = Shield, Pin 2 = +, Pin 3 = -。C-1 のすべての接点は金メッキ加工されているため、ケーブル側にも金メッキコネクターの使用をお勧めします。

## 5. 音 量調整 / 基本音声の設定

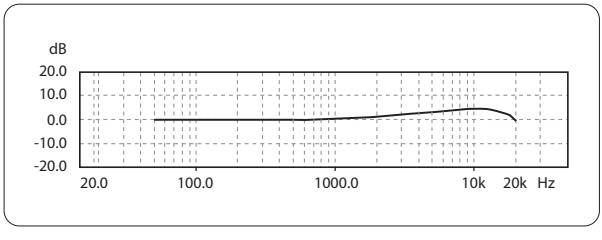
ミキサーのマイクチャンネルに設けられたゲインコントローラーを、ピーク LED が全く点灯しないか、ごく稀に点灯する程度に調整します。マイクチャンネルの EQ コントローラーは最初の状態では中央 位置に設定しておきます。スタジオのレコーディングルームでは、好みの音声が発生するようにマイクの 位置を移動させてみるのもいいでしょう。また、音源に対して様々な角度に防音壁を設置することも理想の音声の発生に役立つことでしょう。イコライザーやシグナルプロセッサーは基本音声が希望の状態に調整されてから必要に応じて接続します。

C-1 は非常に直線的な周波数レスポンスと高い解像度を実現するため、音声に過大な影響を与えノイズレベルを不要に増幅する高周波帯域の EQ 調整が不要になります。ミックスやレコーディングの際に失われがちな音声の透明度は、これによって保たれることになります。

JP




極特性線図




周波数レスポンス

JP

# 6. 技術仕様

| | |
|---|---|
| コンバーター形式 | コンデンサー、16-mm ダイアフラム |
| 指向特性 | カーディオイド |
| コネクター (金メッキ加工) | バランス型 XLR コネクター |
| オープンサーキット感度 | -33 ± 2 dBV (0 dBV = 1 V/Pa) |
| 周波数レスポンス | 40 Hz - 20 kHz |
| 最大入力音圧<br>(1% THD @ 1 kHz) | 136 dB |
| 定格インピーダンス | 100 Ω |
| 出力インピーダンス | >1 kΩ |

**S/N 比**

| | |
|---|---|
| 動作電圧 | +36 ~ +52 V |
| 消費電流 | 2.5 mA |

**寸法および重量**

| | |
|---|---|
| 寸法 | Ø 胴部 54 mm<br>長さ 169 mm |
| 重量 | 約 0.45 kg |

We Hear You